

## II 学校経営

### 1 教育目標

校訓「和衷協同・積極進取」の下、先達の築いた伝統を礎に文武両道を実践し、これからの時代に求められる幅広い知識・技能と豊かな人間性を備えた人材を育成する。

### 2 学校経営方針

教職員が協力・協働を実践し、働きがいのある職場環境を整えると共に、保護者・同窓会・関係団体及び地域の連携・協力の下、次代を担う生徒の充実した学校生活と希望する進路の実現に向けた取り組みを実践する。

- (1) 豊かな人間性を育み、生徒一人ひとりに確かな学力と生きる力を育成する。
- (2) 学習活動と部活動の両立により、真の文武両道を具現化し、希望する進路の実現を目指す。
- (3) 充実した学校生活の実現に向け、ホームルーム、生徒会活動及び学校行事等を通して、生徒自ら企画運営する自主・自立の精神を育成する。
- (4) 管理職、学年会及び各部等が連絡・調整・相互支援を心がけ、日々の教育活動に当たることにより、生徒・保護者が本校で良かったと実感できる教育活動と職員が働きがいのある職場環境づくりを推進する。
- (5) 生徒・職員の心身の健康管理を徹底するとともに、危機管理意識の向上を図る。
- (6) 教育の展開は、目標を定め、年間指導計画に沿って進めるようにする。また、職員の資質能力向上と教育公務員としての使命感・自覚高揚に努める。
- (7) 保護者・地域社会及び関係機関等との連携を通して、教育活動を充実させる。

### 3 育成する生徒像

- (1) 「和衷協同」の精神に基づき、心身とも健康で思いやりを衷心として行動する生徒
- (2) 「積極進取」の精神に基づき、自主・自立の精神を備え、何事にも粘り強く取り組む生徒
- (3) 確かな学力を身に付け、自らの希望進路実現に向けて直向き（ひたむき）に努力する生徒

### 4 具体的努力目標

- (1) P D C A サイクルによる協力・協働体制の確立  
各種会議等により教職員の意思疎通の深化を図り、管理職・学年会・部会の連携等を促進し、より効果的な学校運営をおこなう。
- (2) 授業改善による学力向上
  - ① 知識・技能を確実に身に付けさせる。
  - ② 知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力を身に付けさせる。
  - ③ 主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度を育成する。
  - ④ 公開授業、授業相互観察、教科学習会等を活用し、指導力の向上を図る。
- (3) 基本的な生活習慣・家庭学習・自学自習の確立
  - ① 教師間連携の下、自主・自立に繋がる取り組みを推進する。(宿題、週末課題等)
  - ② 「予習→授業→課題・復習」の学習スタイルを確立させる。
- (4) 進路指導の充実
  - ① 進路指導部作成資料等を活用し、3年間を見通した進路指導の充実を図る。
  - ② 模擬試験の事前・事後指導を充実させ、「目標設定→現状分析→行動→振り返り」の自己教育力を身に付けさせ、生徒の進路実現を図る。
  - ③ 社会の激しい変化や直面する様々な課題に柔軟に対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようキャリア教育を推進する。
  - ④ 語学教育・国際交流（姉妹校ネーサンハイル高校）を推進することにより、これからの社会の変化を読み取る力を育成し、「国際化社会」に対応できる力を身に付けさせる。
- (5) 学習環境の整備  
施設・設備の充実と周辺環境の整備を行い、教科学習及び部活動等の活性化を推進することにより、心身共に健康な学校生活を実現する。
- (6) 外部機関との連携  
学校評議員、P T A、同窓会及び関係団体等と協力、連携し、本校の教育課題の解決に結び付ける。